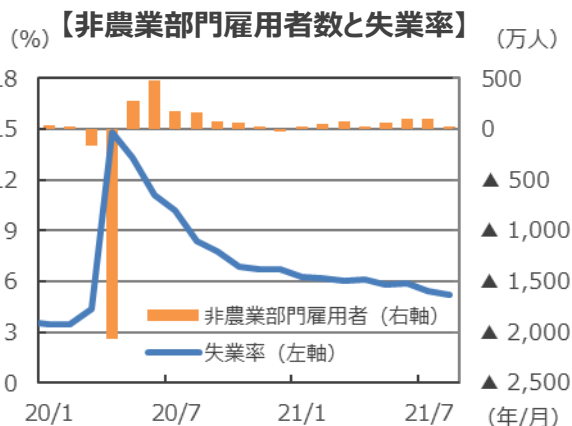


## 今日のトピック 米雇用統計で雇用者数は24万人増 デルタ型拡大で雇用回復は足踏み

### ポイント1 雇用者数は24万人増 失業率は5.2%に低下

- 米労働省が9月3日に発表した8月の雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月から約24万人増加し、73万人程度の増加を見込んでいた市場予想を大幅に下回りました。失業率は5.2%と、前月の5.4%から低下しました。
- 内訳では娯楽や教育関連の雇用増加が大きく減速しており、新型コロナウイルスのデルタ型の拡大によって雇用回復が一旦足踏みした格好です。



### ポイント2 今後も雇用回復継続へ デルタ型の拡大がリスク

- 米国ではワクチン接種が進展しており、ワクチンに重症化を一定程度防ぐ効果が見られていることから、経済再開の動きは続いています。バイデン政権による大型景気対策の効果もあらわれてきており、今後も雇用の回復は続くと考えています。
- 一方、感染者に加えて入院者や死者も徐々に増加しています。デルタ型がさらに拡大する場合には、経済再開のペースが落ちることで雇用の回復が遅れる可能性があります。



### 今後の展開 経済再開に伴い株高継続へ

- 3日の米国株式市場でNYダウとS&P500種指数は小幅下落しましたが、ナスダックは上昇し最高値を更新しました。堅調な景気や企業業績、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の縮小観測を市場が消化しつつあることなどで、米国株式の主要3指数はいずれも最高値付近で推移しています。
- 今後も経済再開の動きが続くことによって景気や企業業績が回復するに従い、株式市場も上昇基調を維持すると見ています。リスクとしては、デルタ型のさらなる拡大によって経済再開の動きが遅れることや、逆に経済再開の本格化によって早期の金融緩和縮小が改めて意識されることなどが挙げられます。

**ここもチェック!** 2021年9月 1日 業績相場と金融相場の狭間にある米国株式市場  
2021年8月31日 米国の『バクトウスクール商戦』は好調な模様

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。